

タイトル	著者名	内容紹介
第164回 芥川賞受賞 推し、燃ゆ	宇佐美いん	逃避でも依存でもない、推しは私の背骨だ。アイドル上野真幸を“解釈“することに心血を注ぐあかり。ある日突然、推しが炎上し—。
この本を盗む者は	深緑 野分	御倉館から蔵書が盗まれ、深冬は残されたメッセージを目にする。“この本を盗む者は、魔術的現実主義の旗に追われる”本の呪いが発動し、街は物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り元に戻らないと知った深冬は…。
52ヘルツのクジラたち	町田そのこ	「わたしは、あんたの誰にも届かない52ヘルツの声を聴くよ」自分の人生を家族に搾取されてきた女性と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。
自転しながら公転する	山本 文緒	結婚、仕事、親の介護、全部やらなきゃダメですか？東京で働いていた都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。答えのない問いを生きる私たちをやさしく包む物語。
滅びの前のシャングリラ	岡良 ゆう	「一ヶ月後、小惑星が衝突し、地球は滅びる」荒廃していく世界の中で、人生をうまく生きられなかった四人が、最期の時までをどう過ごすのか。四人は生きる意味を見つけられるのか。
第19回 このミステリーがすごい！大賞 元彼の遺言状	新川 帆立	「僕の全財産は僕を殺した犯人に譲る」という遺言状を残して、製薬会社の御曹司・森川栄治が亡くなった。弁護士の麗子は、犯人候補に名乗り出た栄治の友人の代理人として「犯人選考会」に参加することとなった。
母影	尾崎世界観	母親の勤めるマッサージ店の片隅で息を潜めている少女。お客さんの「こわれたところを直している」お母さんは、日に日に苦しそうになっていく。少女は願う。「もうこれ以上お母さんの変がどこにも行かないように」
旅する練習	乗代 雄介	中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。2020年、コロナ禍で予定がなくなった春休み、ふたりは利根川沿いに、徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出る。
コンジュジ	木崎みつ子	二度も手首を切った父、我が子の誕生日に家を出て行った母。せれなは、あまりに過酷な現実を生きている。絶望のなか、彼女の人生に舞い降りたのは、伝説のロックスター・リアン。その美しい人は、せれなの生きる理由のすべてとなって…
カリスマ保育士てい先生の子育てで困ったら、これやってみ！	てい先生	子育ての悩みは、子ども特有の気持ちやものごとのとらえ方、体の状態を知るだけでうまくいくことが多い。カリスマ保育士・てい先生、初の子育てアドバイス本ができました！
かいけつメロリ ふうのエイリアン	原 ゆたか	おそろしいエイリアンがちきゅうをのつとりにきた？ はやくつかまえて、うちゅうへおくりかえさなきゃ、たいへんなことになるぜ!! きょうふのドラマが、いまここにはじまる!!